



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



楽しく学んで  
英語を得意に！  
●1月30日 燕庁舎

小・中学生の英語力向上を目指す「Jack & Betty」教室の成果発表会などが行われました。ユニークかつ実践的な成果報告から1年間の学習の成果が表れていました。



いつでも図書館  
どこでも図書館  
●2月2日 市内外各館

2月2日、県内初の「電子図書館」が開館。スマホやタブレットで図書館の本が自宅からでも楽しめます。蔵書は約1,000冊。今後も、増え続けていきます！



今年もやります  
「燕手仕事展」  
●2月5日 燕市産業史料館

若手から熟練まで、燕にゆかりのある職人の作品を展示。さまざまな鍛金・彫金作品を通して、江戸時代から継承される高い金属加工技術をご覧いただけます。



モンゴルの文化を  
楽しく学びました  
●2月15日 中央公民館

燕市はモンゴル国のホストタウン。感染症対策を講じながら、モンゴル語入門講座を開催し、モンゴルの生活や簡単な会話などを学びました。



冬の使者  
白鳥も一苦労  
●1月16日 大河津分水

今冬は、大雪で田んぼが覆われ餌が探せないため、日中も大河津分水で過ごす白鳥を確認できました。水面の一部が凍り、氷面を歩く姿も！



更なる感染症対策を  
実施します  
●1月18日 燕市役所

非接触で体表面温度の自動測定ができるサーマルカメラを市役所全ての入口に設置。市民の皆さんが安心して来庁できる市役所を目指します。



スワローズ杯王者に  
記念品を贈呈  
●1月25日 燕市役所

開催中止となったスワローズカップ本大会の代わりとして市から記念品を贈呈。スワローズの若き大砲 村上選手の直筆サインボールなど豪華記念品が並びました。



しなやかに  
そして力強く  
●1月29日～31日 吉田産業会館

良寛さんゆかりの言葉を課題語句とした良寛書道展。市内小学3年生以上と中学生の銅賞以上の作品1,589点が展示されました。

知っていれば得た気分になれる。そんな話題を集めたコーナーです。

Cooking

野菜いただきま〜す！

燕市食生活改善推進委員  
保健センター ☎0256-93-5461

ジャーマンポテト  
じゃがいも … 2個  
玉ねぎ … 1個  
ベーコン … 適量  
油 … 少々  
塩こしょう … 少々  
酒 … 小さじ1  
1. じゃがいもを5mm幅のいちょう切り、玉ねぎを薄切り、ベーコンを大きめに切る  
2. 油を熱して炒め、酒を入れてふたをし、塩こしょうをする

いただきます！  
幸田 青芭くん  
毎月19日は食育の日。つばめ食育だよりを配信しています。最新号はこちら！▶▶▶▶

ごみの量(令和3年1月)  
ごみの量が前年に比べて減少しています。引き続きごみの削減・分別にご協力をお願いします。

ごみの種類	令和3年1月		令和2年1月		比較増減
	収集量	1人1日	収集量	1人1日	
可燃	1,060 t	435 g	1,126 t	459 g	- 24 g ↓
不燃	61 t	25 g	74 t	30 g	- 5 g ↓
粗大	21 t	9 g	30 t	12 g	- 3 g ↓
資源	203 t	83 g	251 t	102 g	- 19 g ↓
合計	1,345 t	552 g	1,481 t	603 g	- 51 g ↓

生活環境課 環境政策係 ☎0256-77-8167

Culture

●今月一品  
年内立春 月よめば まだ残りあり 日数をも  
かすみにこめて 春は来にけり 林蘊雄  
分水良寛史料館 ☎0256-97-2428 (月曜日休館)  
■入館料 大人300円 高校生・学生200円 小・中学生100円



「年内立春」は「旧暦では十二月のうちに立春がやってくこと」。歌意は、「月を指折り数えてみるとまだ十二月。その日数も春霞に隠れてもう春なのか」。万葉歌人大伴家持に次のような類似歌がある。「月よめばいまだ冬なりしかすがに霞たなびく春立ちぬとかな」。

林蘊雄(？く1862)は歌人で良寛の研究家。本居宣長の高弟・林圀雄の娘ときと結婚して林家を継ぐ。息子は国学者の林蘊臣で、その子が洋画家の林武である。林家四代と称せられる。圀雄の『皇国之言霊』はかつて中村家に残されていたもので、和歌と言霊を結びつけて言語を考察したものである。

地域おこし協力隊の久保です。  
新潟に移住して初めての冬を過ごしています。「この冬は雪が降るぞ！」というお話をよく聞いていたので覚悟を決めて待ち構えていましたが、予想をはるかに上回る積雪量で、とても驚いています。京都府の雪の降る地域で生まれ育ちましたが、最近は暖冬であまり雪を見ておらず、久しぶりに見た雪が「新潟の雪」。家族や地元の友達にたくさん写真を送りました。  
最近のモーニングルーティンは、起きてすぐに窓の外を見て、雪が積もっているかを確認することです！この記事を書いているのは1月ですが、この広報が配布される3月にはこのルーティンがなくなっていると嬉しいです(笑)

地域おこし協力隊の  
奮闘日記 vol.36

燕市地域おこし協力隊  
久保 陽菜乃

